PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 02206394 A

(43) Date of publication of application: 16 . 08 . 90

(51) Int. CI H02P 6/02

(21) Application number: 01024997
(22) Date of filing: 03 . 02 . 89

(71) Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(72) Inventor: OKU HIROYUKI YASOHARA MASAHIRO NAKANO HIROMITSU

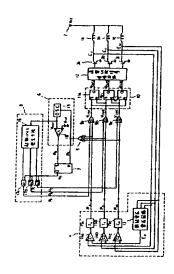
(54) BRUSHLESS MOTOR DRIVE

(57) Abstract:

PURPOSE: To facilitate starting of motor by sequentially switching power conduction state of drive coil for respective phases by means of externally excited timing pulses, when the motor is stopped or rotating with quite low speed and thereby voltage to be induced in the drive coil cannot be detected.

CONSTITUTION: Since AND gates 17a, 17b, 17c take AND of starting pulse and mode setting signal VR, an externally excited timing pulse generating circuit 8 produces externally excited pulses PA, PB, PC. Timing pulse combining circuits 9a, 9b, 9c take AND of self-exciting timing pulses PU, PV, PW and the externally excited timing pulses PA, PB, PC for each corresponding phase, thus producing output signals VINA, VINB, VINC. The output signals are fed to set and reset terminals of a power conduction switching circuit 10, which then produces electrification switching signals VOUTA, VOUTB, VOUTC. Electrified state of the drive coil is switched sequentially with this timing, thus rotating the motor.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio



⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

平2-206394

@Int.Cl. 5

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)8月16日

H 02 P 6/02

識別記号 371 T 8625-5H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

ブラシレスモータの駆動装置 60発明の名称

> 顧 平1-24997 ②特

顧 平1(1989)2月3日 ②出

@発 明

之

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

@発 明 者

八十原 正 浩 博 充

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

中野 @発 明 者 松下電器産業株式会社 勿出 願 人

大阪府門真市大字門真1006番地

弁理士 粟野 重孝 個代 理 人

外1名

1、発明の名称

ブラシレスモータの駆動装置

2 、特許請求の範囲

複数相の駆動コイルに誘起される誘起電圧を検 出し通電すべき駆動コイルを切り換える自励タイ ミングパルスを相数分出力する通電タイミング検 出手段と、前記相数分出力された各自励タイミン グパルスの論理和をとった初期化パルスを出力す る初期化パルス発生回路と、前記初期化パルスを 入力して一定時間内に次の初期化パルスが入力さ れなかった場合他励モード切換パルスを出力する タイマー回路と、前記初期化パルスによりリセッ トされかつ他励モード切換パルスによりセットさ れるフリップフロップを有し他励モードと自励モ ードを確定するモード設定倡号を出力するモード ラッチ回路と、前記初期化パルスにより他励モー ド時に通電する駆動コイルを切換える他励タイミ ングパルスを他励モード時のみ相数分出力する他 励タイミングパルス発生回路と、前記相数分出力 する自励タイミングパルスと前記相数分出力する 他励タイミングパルスの各々対応する相ごとに論 理和をとり通電切換パルスを出力するタイミング パルス合成回路と、前記通電切換パルスにより通 電切換信号を発生する通電切換回路とを備えて前 記駆動コルイに接続された駆動トランジスタとを 付勢して成るブラシレスモータの駆動装置。

3、 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は音響機器や映像機器などに使用される ブラシレスモータの駆動装置に関するものであ

従来の技術

近年、音響機器や映像機器などに使用されるモ ータはその高信頼化、長寿命化のために従来の別 子, 整施子を有する直流モークに代わって、ロー クの回転位置を位置検出器で検出して複数相のコ イルと直列に接続された複数個の駆動トランジス 夕を順次導通させて、前記ロークの回転を接続さ せるように構成されたいわゆるブラシレスモータ

が用いられることが多くなってきた。

以下、図面を参照しなから従来のプラシレスモータの駆動装置について説明する。

第4図は従来のプラシレスモータの駆動装置の 回路結練図であり、101a,101b,101c は駆動コイルであり、103a,103b,10 3 c は駆動トランジスタである。前記駆動トラン ジスタの各エミッタは接地されている。前記駆動 トランジスタ103aのコレクタは駆動コイル 101aを介して、前記駆動トランジスタ 1 0 3 b は駆動コイル101bを介して、前記駆動トラン ジスタ103cは駆動コイル101cを介してそ れぞれ電源端子102に接続されている。前記駆 動トランジスタ103a.103b,103cの 各コレクタはそれぞれコンパレータ105a. 105 b、105 c の非反転入力端子に接続され ると共に誘起電圧合成回路104の入力電極に接 統されている。前記誘起電圧合成回路 104の出 力端子は前記コンパレータ105a,105b, 105 cの反転入力端子に接続されている。前記

コンパレータ105a.105b.105cの出力場子は通電切換信号増幅回路106の入力場子に接続されている。前記通電切換信号増幅回路106の出力場子は前記駆動トランジスタ103a.103b.103cのベースにそれぞれ接続されている。

以上のように構成された従来のブラシレスモー タの駆動装置について、その動作を以下に説明する。

第5図は第4図におけるモータ正転時の信号波形図である。第4図において、誘起電圧合成回路104は駆動コイル101a、101b、E101c に発生する誘起電圧信号E101a、E101b。E101c の最高電位を合成し電源電圧V102を基準に反転して2分の1倍した動作信号V104を出力する。コンパレータ105a、105b、105cを出力する。とE101a、E101b、E101cを比較し第5図のような出力信号V105a、V105cを出力する。例えばコンパレータ105aはV101aとV104を比較し、V101a ≥ V104のときにはL、V101a ≥ V104を

V104のときにはHとなる通電切換信号V105aを出力する。モータが正転している時、通電切換信号V101a, V105b, V105cは誘起電圧信号V101a, V101b, V101cに対して最適通電タイミングとなり、通電切換信号増幅回路106により信号増幅され駆動トランジスタ103a, 103b, 103cのベースに印加されるので、モータは効率よく正方向に回転を続ける。

発明が解決しようとする課題

しかしながら上記に示したような構成を有する 従来のブラシレスモータの駆動装置においては、 モータの停止状態において各相の駆動コイルに誘 起電圧が発生しないためモータを起動することが できないという問題点を有していた。

本発明は上記のような問題点を鑑みて、モータを停止状態から容易に起動することができるという高性能なブラシレスモータの駆動装置を提供するものである。

課題を解決するための手段

この目的を達成するために本発明のブラシレス

モータの駆動装置は、複数相の駆動コイルに誘起 される誘起電圧を検出し通電すべき駆動コイルを 切り換える自励タイミングパルスを相数分出力す る通電タイミング検出手段と、前記相数分出力さ れた各自励タイミングパルスの論理和をとった初 期化パルスを出力する初期化パルス発生回路と、 前記初期化パルスを入力して一定時間内に次の初 期化パルスが入力されなかった場合、他励モード 切換パルスを出力するタイマー回路と、前記初期 化パルスによりリセットされかつ他励モード切換 パルスによりリセットされるフリップフロップを 有し他励モードと自励モードを確定するモード設 定信号を出力するモードラッチ回路と、前記初期 化パルスにより他励モード時に通電する駆動コイ ルを切換える他励タイミングパルスを他励時のみ 相数分出力する他励タイミングパルス発生回路と、 前記相数分出力する自励タイミングパルスと前記 相数分出力する他励タイミングパルスの各々対応 する相ごとに論理和をとり通電切換パルスを出力 するタイミングパルス合成回路と、前記通電切換

特開平2-206394 (3)

パルスにより通電切数信号を発生する通電切換回 路を備えたものである。

作用

実 施 例

以下、本発明の一実施例について図面を参照しながら説明する。

第1図は本発明の一実施例におけるブラシレスモークの駆動装置の回路結練図である。

さて、1 a . 1 b . 1 c は駆動コイルであり、 その一端は電源端子 2 に共通接続され、他端はそれぞれ駆動トランジスタ 3 a . 3 b . 3 c のコレ **預用于2-206354(3)**

クタに接続されると共に通電タイミング検出手段 4の入力端子に接続されている。前記駆動トラン ジスタ3a.3b,3cの各エミツタは接地され ている。前記選 タイミング検出手段 4の出力 子はタイミングパルス合成回路9a,9b,9 の入力端子に接続されると共に初期化パルス発生 回路5の入力端子に接続されている。6はタイマ ー回路であり、その一方の出力端子はモードる。 チ回路7のセット入力端子に接続されている。

グパルス合成回路9a.9b.9cの出力端子はそれぞれ通電切換回路10の入力端子に接続されている。前記通電切換回路10の出力端子はそれぞれ通電切換信号増幅回路12の出力端子に接続されている。前記通電切換信号増幅回路12の出力端子はそれぞれ前記駆動トランジスタ3a.3b,3cのベースに接続されている。

以上のように構成された本発明の一実施例にお けるブラシレスモータの駆動装置について、その 具体的回路動作を以下に説明する。

第1図において、4は通電タイミング検出手段である。通電タイミング検出手段4は誘起電圧合成回路13、コンパレータ14a、14b、14cエッジ検出回路15a、15b、15cにより構成される。

以下、第2図を参照しなから通電タイミング検 出手段4の動作について説明する。

第2図においてEυ、EV、EVは駆動コイルの 講起電圧であり、誘起電圧合成回路13は各相の 講起電圧信号の最高電位を合成し、電源電圧Vcc を基準に反転して2分の1倍した信号E0を出力する。コンパレータ14a.14b.14cはEU.Ev,EwとE0を各々比較し、Cu,Cv,Cwの動作信号をそれぞれ出力する。エッヂ検出回路15a.15b.15cはコンパレータ14a.14b,14cの出力信号Cu,Cv,Cwの立ち下がりをそれぞれ検出し、自励タイミングパルスPu、Pv、Pwを出力する。

初期化パルス発生回路5は自励タイミングパルスPo、Pv、Pwの論理和を初期化パルスPsとして出力する。タイマー回路6は初期化パルスPsを入力して一定時間内に次の初期化パルスPsが入力されなかった場合に他励モード切換パルスを出力するものである。本発明の一実施例では、タイマー回路6はOSC19、リセットコンパレータ18により構成されている。

以下第3図を参照しながら説明する。

OSC19の出力波形は第3図Voscのようであり、モークが停止していて初期化パルスPsが発生しないときにはVnとVLの間で充放電をくり返

符開平2-206394 (4)

すが、Psが発生するとPsがHになるごとに放電をくり返し初期化パルスPsに同期して充放電をくり返す。リセットコンパレータ18はOSC19の出力電圧Voscと基準電圧Vrorとを比較する。 準電圧VrorのレベルをVHに近く設定しておくと、モータの誘起電圧が検出できない時にはリセットコンパレータ18は他励モード切換パルスPaを出力する。

モードラッチ回路?はモータの誘起電圧が検出できないときには他励モード切換パルスPRによりリセットされ、モータの誘起電圧が検出できる時には初期化パルスPSによりリセットされるので、第3図VRのようなモード設定信号を出力する。

他励タイミングパルス発生回路8は起動パルス発生手段16とAND回路17a.17b.17cにより構成される。起動パルス発生手段16はOSC19の放電するタイミングで発生する起動パルスを相数分出力するが、AND回路17a.17b,17cはその相数分出力された起動パル

スとモード設定信号VRの論理積をとるので、その結果、他励タイミングパルス発生回路は第3図 PA、PB、PCのような他励タイミングパルスを 出力する。

タイミングバルス合成回路9a、9b、9cは自励タイミングバルスPu、Pv、Pwと他励クイミングバルスPu、Pvの各々対応する相ごとに論理和をとり、第3図に示すようなViNA、ViNB、ViNCの出力信号が発生する。ViNA、ViNB、ViNCはRSフリップフロップを有する通電切換回路10のセットおよびリセット端子に各々入力されて通電切換信号VouTA、VouTCが発生しこのタイミングでモータの駆動コイルの通電状態が順次切換わりモータは回転する。

したかって、本発明の一実施例におけるブラシレスモータの駆動装置において、モータが停止していて誘起電圧が検出できない時には他励タイミングパルスによりモータの駆動コイルの通電状態を順次切換えてモータを回転させ、モータが回転して誘起電圧が発生するとその瞬間に自励タイミ

ングパルスによりモータの駆動コイルの通電状態 を順次切換えてモータを回転させる。

発明の効果

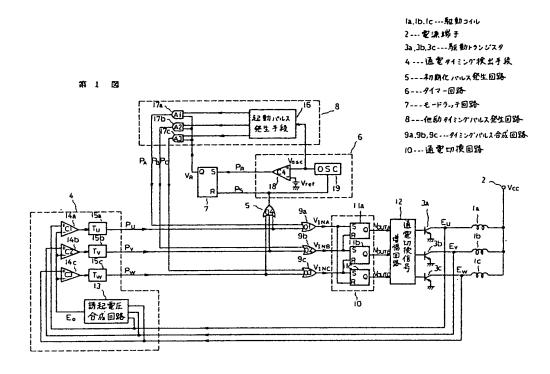
以上の説明から明らかなように本発明は、モータの停止状態あるいは極めて低速回転時においてグルスにより駆動コイルの通電状態を順次切りえてモータを回転させ、モータが回転をはじめて対により駆動コイルの通電状態を順次切りえいれるにより駆動コイルの通電状態を順次であるという優れた効果が得られる。

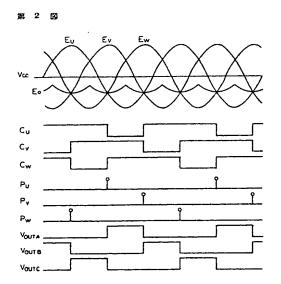
4. 図面の簡単な説明

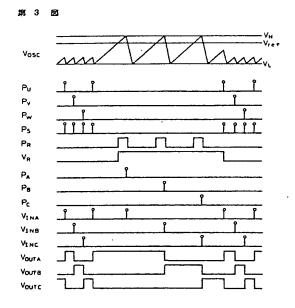
第1図は本発明の一変施例におけるブラシレスモータの駆動装置の回路結構図、第2図は第1図におけるモータ回転時の動作信号波形図、第3図は第1図におけるモータ起動時の動作信号波形図、第4図は従来のブラシレスモータの駆動装置の回路結構図、第5図は第4図における動作信号波形図である。

代理人の氏名 井理士 栗野重孝 ほか1名

特閒平2-206394 (5)







特閒平2-206394 (6)

